

令和 2 年 11 月 26 日

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成 20 年に政府管掌健康保険を引き継いで設立されました。全国で約 4,030 万人、うち長野支部では約 66 万人が加入しています。

【お問い合わせ先】

〒380-8583
長野市南長野西後町 1597-1
長野朝日八十二ビル 8 階
全国健康保険協会長野支部
企画総務グループ 東(ひがし)
TEL:026-238-1251 FAX:026-238-1257

2019 年度長野支部スコアリングレポート 発表 ～概ね全国平均に比べ良好だが、男女とも空腹時血糖が高い人が多いという課題も～

協会けんぽは、2019 年度の支部別スコアリングレポート※を作成しました。長野支部は全 32 項目のうち、半分の 16 項目で A ランク(47 支部中 10 位以内)、残る 16 項目も全て B ランク(11 位～37 位)で、C ランク(38 位以下)の項目はありませんでした。

しかし、空腹時血糖が基準より高い人の割合が男性で全国平均より 3.7%高く、女性で 2%高いといった課題も確認できます。

※スコアリングレポートとは、協会けんぽ支部ごとの健診受診率、特定保健指導実施率に加え、男女別の健診結果や問診結果の年齢調整平均値及び医療費をレーダーチャートやグラフにより「見える化」し、支部の全国順位と健康課題を把握できるようにした資料です。

■長野支部スコアリングレポートの特徴

I 健診受診率・保健指導実施率の概要

事業者健診データの取得が A ランク。被扶養者の健診受診率、保健指導の初回面談実施率、6 か月後評価実施率が A ランク。特に初回面談実施率が順位を 25 上げている。

II 生活習慣病リスク保有者の割合

メタボリック、メタボリック予備群、腹囲リスクは男女とも A ランク。男女とも代謝(血糖)リスクの順位が低い。男女とも脂質リスクを除き、リスク保有者の割合は増加傾向。

III 生活習慣要改善者の割合

女性に比べ男性の順位が低い。男女とも体重 10 kg 以上増加者の割合は増加傾向。食事習慣要改善者の割合は男性で昨年より 4.6%減少、逆に女性は 2.3%増加(全国的にも同様の傾向)。

IV 医療費の状況(2018 年度まで)

2015 年度から 2017 年度までの 1 人あたり医療費は 2 位(1 位は新潟支部)であったが、2018 年度は 3 位(2 位は富山支部)になった。

長野支部では、2018 年に策定した第 2 期データヘルス計画で、2023 年度までに空腹時血糖が基準より高い人の割合を全国平均レベルまで低減させることを中位目標として設定し、血糖値への影響が大きい運動習慣、食事習慣の改善及び禁煙対策に取り組んでいます。

具体的には、加入事業所と連携し、従業員の健康づくりを推進するコラボヘルスの普及に取り組んでおり、その一環として、希望する事業所に訪問し、運動・食事・禁煙を含む各種講習会を無料で開催しています。

【添付資料】・2019 年度長野支部スコアリングレポートの概要

・2019 年度支部別スコアリングレポート《長野支部》